

## OECD 東京センター・インターンレポート

インターン期間：2019年10月～12月

野間 亜未

### 東京センターとは

OECD 東京センターでは OECD に対する理解を促進する目的のため、OECD が発表する政策案とデータをまとめた報告書や OECD 職員の活動について発信をしています。パリにある OECD 本部と連携を取り、日本で OECD の報告書やデータがどのように取り上げられているかの報告を行ったり、翻訳した報告書の紹介などが業務内容としてあります。今回は報告書の発表時のインターンとしての業務について詳しく説明したいと思います。

### インターン業務について：報告書の発表

私が勤務していた 12 月に OECD が 3 年に 1 度執り行っている「PISA（OECD 生徒の学習到達度調査）」の発表があり、盛大な報告書発表場面に携わることができました。

まず多くの場合報告書の発表前には、パリに在籍している OECD の専門家と記者をインターネット経由で繋ぐ形で、記者会見を開き報告書の概要の説明や質疑応答を行ないます。インターンとして、当日の受付や配布資料の準備など運営の土台作りを一任されていました。PISA ではアンドレアス・シュライヒャー教育・スキル局長のビデオ会議型の記者会見に同席し、教育を専門とした記者たちの鋭い質問に対して PISA 調査結果の詳しい補足を入れるシュライヒャー局長を目の当たりにすることもできました。

報告書の発表後には日本のメディアでどれくらい注目されて、どのように報じられたかをパリに報告するため、新聞紙面やネット上の記事をまとめる作業を行ないます。PISA の際は、読解力の順位が急落したことから「PISA ショック再び」と新聞各社が 1 面で報道し、特集を組むほど反響がありました。そのため情報解禁翌日には異なる媒体の記事を 80 ほど集め、インパクトとしてパリの本部に提出しました。

その後は、追加される PISA 関連記事のリサーチや集成に加え、問い合わせに応じた資料作成などを任されることもありました。

PISA 以外にも年に 2 回発表される世界経済の今後を予想した「エコノミック・アウトルック（経済見通し）」や保育士の労働環境などを調査した「TALIS Starting Strong」など多岐にわたる報告書の発表に関わることができました。勤務期間によりインターンとして携われる報告書が変わってくることもインターンそれぞれの経験ができると思います！



### 最後に

東京センターでは国際機関で働くという貴重な体験をさせていただきました。最新の OECD 調査内容を身近に感じながら広報活動に関わることができ、今後の国際社会の方向性や見解について吸収することが沢山ありました。さらに報告書の他にも、アンヘル・グリア事務総長が実際に目を通す資料の作成など責任感のある業務を任される点にやりがいを感じながら、あっという間任期を終えてしまいました。学生の内から国際機関で勤務経験を積める数少ないインターンなので興味がある方は是非応募してみてください！

